

みんなであつくり  
輝く福山



**2018年度（平成30年度）**

**福山市子ども議会 報告・感想文集**



# 2018年度（平成30年度）福山市子ども議会 報告・感想文集

## 目次

### 【第1章・開催報告】

実施要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P5
子ども議員一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	P6
本会議までのあゆみ・・・・・・・・	P7
質問・提案と答弁・・・・・・・・	P13
本会議の様子・・・・・・・・	P18
福山市子ども議会宣言・・・・・・・・	P20
子ども議会通信・・・・・・・・	P21

### 【第2章・感想文集】

感想文集・・・・・・・・・・・・・・・・	P27
----------------------	-----

# 第1章

## 開催報告

# 実施要項

## 1 目的

市政の現状や課題を調べ、それぞれの視点でまちづくりのための新たな施策を提案することで、地域や社会に関心を深め、主体性と、福山への愛着と誇りを持てる子どもを育成する。

## 2 対象

市内の小学校、中学校に在籍する、または市内に在住し、市（県）外の小学校、中学校に在籍する小学5・6年生、中学生。40名。

## 3 「本会議」開催日時

2018年（平成30年）10月21日（日）13時30分から

## 4 募集方法

質問・提案したいテーマを次の5つの中から第1希望、第2希望を選び、選んだ理由を簡単に記入する。

### （1）中心市街地の活性化と都市の魅力向上

～中心市街地が活性化し、魅力あふれるまち～

### （2）希望の子育て、安心の医療・福祉とまちの活力の創出

～子どもたちの笑顔が輝き、誰もが健康でいきいきと暮らせるまち～

### （3）まちの成長をけん引する産業づくり・防災

～活力ある産業があり、安心・安全で快適に暮らせるまち～

### （4）夢・希望あふれる未来を創る人材の育成

～世界や地域で活躍し、未来を創造する“ひと”を育むまち～

### （5）文化・スポーツの振興

～歴史・文化が薫り、スポーツに親しめるまち～

## 5 応募条件

（1）「事前学習会」に参加できること （2）保護者の承諾が得られること

## 6 応募期間 2018年（平成30年）5月1日（火）から5月31日（木）まで

## 子ども議員名簿

(※学年・五十音順)

	名 前		学校名		備考
ドリームパーク プロジェクト 委員会	吉澤 京香	よしざわ きょうか	神辺東中学校	3年	副議長
	川原 遥	かわはら はるか	福山中学校	1年	広報委員
	葛原 夢依	くずはら ゆい	盈進中学校	1年	
	藤井 萌百	ふじい もも	盈進中学校	1年	副委員長
	縄 恵太	なわ けいた	福山中学校	1年	委員長
	酒井 茉莉子	さかい まりこ	東小学校	6年	
	通山 愛唯	とおりやま あい	東小学校	6年	
	村上 響	むらかみ ひびき	箕島小学校	5年	
女性活躍推進 委員会	穴野 亮太	ししの りょうた	盈進中学校	2年	委員長
	小山 絢彩美	こやま あやみ	福山中学校	1年	副委員長・広報委員
	林田 琴波	はやしだ ことな	福山中学校	1年	
	石川 晴菜	いしかわ はるな	御幸小学校	6年	広報委員
	吉川 寿乙	きっかわ ことぶき	千田小学校	6年	広報委員
	山本 瑚心	やまもと ここ	手城小学校	6年	
	武本 陽大	たけもと ひなた	山手小学校	5年	
みんなが安心 防災委員会	金高 ひな乃	かねたか ひなの	鳳中学校	3年	委員長
	新田 晟	にった せい	城北中学校	1年	広報委員
	松本 拓真	まつもと たくま	幸千中学校	1年	副委員長
	岩根 沙樹	いわね さき	引野小学校	6年	
	久米 玲海	くめ れみ	引野小学校	6年	広報委員
	宮 愛佳	みや あいか	御幸小学校	6年	
	石井 心桜	いしい しおり	千田小学校	5年	
教育のデジタル化 推進委員会	金子 愛佳	かねこ あいか	城南中学校	3年	副委員長
	崎谷 陽菜	さきや ひな	神辺東中学校	3年	
	坪内 志菜	つぼうち しおり	福山中学校	3年	委員長
	大野 真歩	おおの まほ	御幸小学校	6年	
	高橋 一加	たかはし いちか	御野小学校	6年	子ども議会宣言策定委員
	土肥 利江	とひ りえ	御野小学校	6年	子ども議会宣言策定委員
	橋本 凌	はしもと りょう	引野小学校	6年	広報委員
	平田 大貴	ひらた だいき	ぎんがの郷小学校	5年	広報委員
総合体育館 マネジメント 委員会	増田 花音	ますだ かのん	中央中学校	3年	議長
	通山 由唯	とおりやま ゆい	広大附属福山中学校	2年	委員長
	足立 美咲	あだち みさき	中央中学校	1年	広報委員
	大本 楓	おおもと かえで	福山中学校	1年	副委員長
	今川 沙稀	いながわ さき	御幸小学校	6年	
	山本 憲誠	やまもと けんせい	加茂小学校	6年	広報委員
	白石 一真	しらいし いっしん	箕島小学校	5年	
	星山 葉月	ほしやま はづき	曙小学校	5年	

## 本会議までのあゆみ

### 1 認定書交付式

日時：7月14日（土） 8時30分～11時00分

会場：福山市役所 大会議室

#### （1）認定書交付

教育長より、子ども議員一人一人に認定書が交付され、『10回目の節目の年である今年度の子ども議会を大いに楽しみ、福山の未来について一生懸命考えていただきたいです。そして、福山に生まれ、住んでいることを誇りに思っていたきたいと思います。10月の本会議では、未来につながる素晴らしい意見や提案をいただくのを楽しみにしています。どうか最後まで頑張ってください。』とエールが送られました。子ども議員もはじめは緊張していましたが、認定書を受け取ると子ども議員としての自覚が芽生え、気合いが入った様子でした。

#### （2）決意表明

小学5年生の子ども議員6名が子ども議員を代表して、「観光客であふれるまち」、「楽しくのびのびと暮らせるまち」や「安心して前向きに暮らせるまち」にしていきます、と元気よく決意表明をしました。



### 2 第1回事前学習会

日時：7月23日（月）10時00分～15時40分

会場：市役所3階大会議室，市役所議会棟

#### （1）仲間づくりのレクリエーション

午前中は福山市青少年育成事業団の職員による仲間づくりのレクリエーションを行いました。20の小中学校から集まり緊張気味だった子ども議員も、たくさんのレクリエーションを通して班の仲間や初対面の子とも話せるようになり、にぎやかな時間となりました。

#### （2）議場見学：議会事務局庶務課・議事調査課

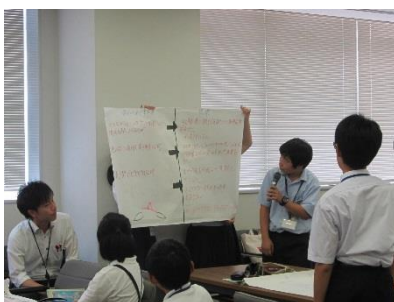
午後からは、議会棟を見学しました。議場と委員会室を見学し、それぞれの場所がどんな時に使われるのか、市議会議員の方がどんなことをしているのか、などを学習しました。子ども議員は、議長席に座るなど、初めて入る議場に興味津々な様子でした。

### (3) 市政についての学習：企画政策課

これから子ども議会の質問や提案書をつくるために、企画政策課による総合計画を基に市政についての学習をしました。福山の魅力や課題、未来に向けて努力していることなど詳しく知ることができました。未来の福山について委員会ごとに話し合い、模造紙にまとめて最後に発表しました。

### (4) ばらについての学習：教育総務課

ばらについての学習を行いました。なぜ福山は「ばらのまち」なのか、ローズマインドとはどんなものなのか学習しました。ばら苗の育て方も教えてもらい、一人ずつ配布された苗を家に持ち帰りました。



## 3 第2回事前学習会

日時：7月26日（木）13時30分～16時00分

会場：ローズコム

10月の本会議に向けて、質問・提案したいテーマを具体的に話し合っ決めました。模造紙やふせんを使うなど委員会ごとのやり方で、福山の課題や未来の福山について、ひとりひとりの思いを出し合いました。



#### 4 子ども議員・高校生議員合同学習会：福山のものづくりを学ぶ

日時：8月8日（水）10時30分～12時30分

会場：男女共同参画センター大会議室

市内のものづくり企業の方を招いて、福山の経済を支えるものづくりの現状について学習しました。今回は、カイハラ株式会社から技心伝承支援室 大久保雅文主査に来ていただきました。たくさんのサンプルや商品を用意していただき、デニムに関する分かりやすく興味深い講演をしていただきました。子ども議員は、世界に誇れる会社がこの福山にあることを知り、熱心にメモを取りながら聴いていました。



#### 5 第3回事前学習会～第5回事前学習会

日時：8月9日（木）・25日（土）、9月2日（日） 13時30分～16時

会場：ローズコム

第3回事前学習会から第5回事前学習会では、前回決めた質問・提案したいテーマをもとに、本会議に向けての質問・提案書の作成に取りかかりました。それぞれ5つの委員会に分かれて各関係課の方からお話を聞きながら作業をしました。資料をいただき学習を深める班や、フィールドワークに出る班など、みんなで福山をよりよくするための案や意見を出し合いながら、話し合いをすすめました。高校生サポーターの方にも班に入ってもらいサポートしていただきました。フリップに絵を描く人や質問書をつくる人など、委員長を中心にみんなで役割分担をしながら、協力して学習会を進めました。







(1) 選挙についての学習：選挙管理委員会 【8月9日（木）第3回事前学習会】

議長選挙を行うにあたり、選挙について学習しました。選挙権についてのお話や、選挙の種類、投票の方法などを学びました。そのあとに行われる議長選挙に向けて、しっかりと予習することができました。

(2) 議長選挙 【8月9日（木）第3回事前学習会】

子ども議会本会議を進行する議長選挙を行いました。4人の立候補者が選挙演説を行い、それぞれが立候補した動機や決意を述べました。子ども議員は4人の演説にしっかり耳を傾け、実際に選挙で使用されている記載台や投票箱を使って、本番さながら投票をしました。

投票の結果、議長に中央中学校3年生の増田花音さん、副議長に神辺東中学校3年生の吉澤京香さんが当選しました。



## 6 リハーサル

日時：10月20日（土） 13時30分～17時

会場：市議会議場

子ども議会本会議のリハーサルを行いました。はじめに、議長選挙で当選した議長と副議長の2名に当選証書を交付し、その後リハーサルを行いました。高校生サポーターもリハーサルに参加し、子ども議員に具体的なアドバイスをしてくれました。翌日の本会議に向けて、一人ひとり自分の動作や役割を確認しました。



## 7 本会議

- (1) 日時：10月21日（日）  
13時30分～15時
- (2) 場所 市議会議場
- (3) 次第
  - ・子ども議員紹介
  - ・理事者紹介
  - ・市長挨拶
  - ・市議会議長挨拶
  - ・開会宣告
  - ・議事（代表質問）
  - ・福山市子ども議会宣言
  - ・子ども議長挨拶
  - ・閉会宣告



子ども議員は5つの委員会ごとに、フリップを使いながら質問や提案を行い、これに対して、市長及び教育長が答弁を行いました。再質問には、担当部長が答弁を行いました。

たくさんの理事者が見守る中、子ども議員はとても緊張していましたが、リハーサルを思い出し大きな声で堂々と発言できました。

子ども議員は答弁をメモするなど熱心に話を聞いており、子ども議会は無事閉会しました。



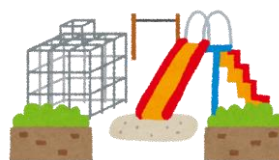
## 8 座談会

本会議終了後、市役所中会議室に移動して座談会を行いました。高校生ボランティアが進行をしてくれました。教育長の講評を聞きながらこれまでの活動を振り返りました。市長、教育長を囲んで円になって座り、“市長になろうと思ったきっかけ”や“好きな食べ物”など様々な質問をして、笑顔あふれる座談会になりました。最後に、副議長があいさつをして閉会しました。



## 【ドリームパークプロジェクト委員会】質問・提案

### 「どんな人でも共有できる空間」について



福山市内には大きな公園から小さな公園まで、約700の公園があります。きれいな公園が増え、どんな年代でも楽しめる公園ができれば、笑顔あふれる街になると思います。そこで、思いっきり遊べるアスレチックや休憩できるベンチなど、子どもも大人も行きたくなる理想の公園について考えました。

公園に多くの人が集まり、福山をにぎやかにするための質問と提案

- ① 若者を集めるためのスポットについて。
- ② 大人や高齢者が楽しめる、1年中飽きない公園について。
- ③ 子どもが思いっきり遊べるためのルールについて。

①②遊具やトイレなどの公園施設については、計画的な更新を行っております。また、四季の移ろいを感じられる樹木を植えたり、ばらのアーチのそばでローラと一緒に写真が撮れるベンチを設置するなど、魅力ある公園づくりに努めています。現在は、競馬場跡地に総合体育館と公園の建設を進めています。その公園には、木陰にベンチを設置し、大きな遊具や芝生広場も造っています。

③公園の利用について、子どもからお年寄りまでが安全に使えるように、地域で話し合いをして、公園ごとにルールを決めています。どんなルールにしたら楽しめる公園になるのか、地域の皆さんと一緒に話し合うことが大切ですね。今後どの年代の人にとっても憩いの場となるよう、きれいで使いやすい公園にしていきたいと思います。

## 【ドリームパークプロジェクト委員会】質問・提案の資料



## 【女性活躍推進委員会】質問・提案

### 「女性の社会参加」について



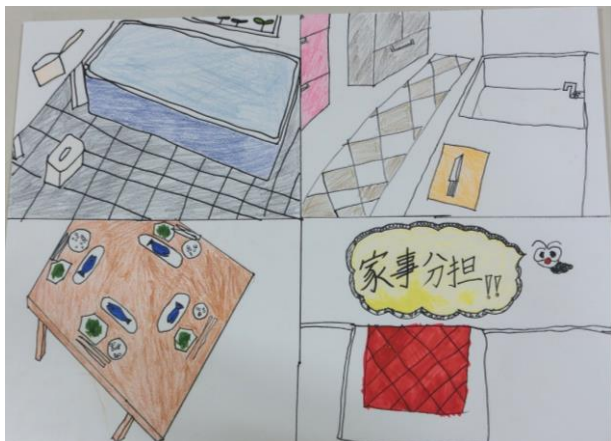
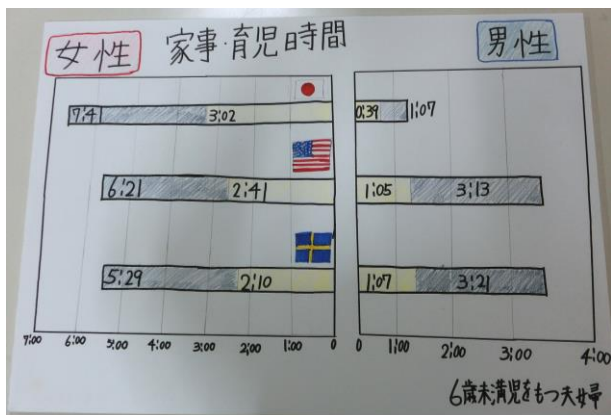
福山市が2016年度に行った「男女共同参画に関する市民意識調査」から、男性が女性より優遇されていると感じている人が多いことを知りました。「女性だから」「男性だから」と決め付けた考え方をなくすことが、女性の社会進出のために必要だと思います。

男性・女性が平等に過ごしていけるための質問と提案

① 男女格差の解消に向けた取組と成果について。

①2002年に、男性と女性が差別されることなく社会で活躍するための考え方を定めた条例を制定し、その翌年、「男女共同参画センター」を設置しました。センターでは、セミナーなどをはじめ、フォーラムや講演会の開催、情報誌「イコール」の発行など、様々な取組を進めています。昨年度は延べ6,636人の方が受講され、当初からの合計人数は、8万2000人を超えました。2016年度には「男性は仕事、女性は家庭」という考えについて「同意できない」人が60.6%となり、5年前の調査に比べ、18.7%増えました。また、セミナーの修了生が出前講座の講師になるなど、男女共同参画社会の実現に向けた取組が着実に進んでいると考えています。引き続き、男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいきます。

## 【女性活躍推進委員会】質問・提案の資料



## 【みんなが安心防災委員会】質問・提案



### 「外国人も安心して暮らせる地域づくり」について

6月から7月にかけて西日本豪雨災害がありました。福山市でも、避難が遅れてしまった方や、被害にあわれた方がいます。届いた情報がわかりにくかったことも被害にあう原因の一つだと思います。そこで、日本人だけでなく外国人でもわかりやすい避難情報の提供について考えました。

災害時に必要となる情報提供によって、みんなの命を救うための質問と提案

- ① 避難指示の基準について。
- ② 避難情報の発信について。

①災害時、避難を呼びかける情報には、「避難準備・高齢者等避難開始」の情報、「避難勧告」、「避難指示（緊急）」の3つがあります。これらの呼びかけは、洪水、土砂災害など、災害の種類によって判断します。例えば河川については、危険とされる水位に達したときに避難勧告などを発令しています。土砂災害の危険性は、雨の状況や土の中の水分量によって判断しています。

②避難情報は、携帯電話へ一斉に発信する緊急速報メールや、テレビ・ラジオ放送、ホームページ、車による広報、フェイスブックなどの SNS など、様々な手段を組み合わせることで発信しています。また、地域での避難の呼びかけもお願いしています。今後、避難情報の伝え方や伝えたいことを工夫し、より一層安心して避難できるようにしていきます。

## 【みんなが安心防災委員会】質問・提案の資料



## 【教育のデジタル化推進委員会】質問・提案



### 「デジタル教材の活用」について

未来の学校を想像すると、AI や ICT 技術の高度化により、デジタル教材を扱いながら学習する姿が目に見えてきます。電子黒板やプロジェクタ、タブレットなど、教材をデジタル化すると、難しいこともわかりやすくなり興味や関心を深めながら学習を進めることができると思います。最先端の技術を用いることで、今までできなかった勉強法が可能になり、様々な視点で学習できると思います。

デジタル教材を使用してさらに学習深めるための質問と提案

- ① 福山市立小中学校における ICT 機器の導入状況について。
- ② デジタル教材の活用状況について。

①本市では、ICT 機器を計画的に整備しています。昨年度からの2カ年で、小学校のパソコン教室に児童用タブレット型パソコンを備えつけます。中学校には来年度中に備えつけます。また、小中学校の全ての普通教室に電子黒板、実物投影機、教師用タブレットを設置する計画であり、本年度は小学校21校の5・6年生の教室に設置しました。

② ICT 機器を活用している学校では、挿絵・写真等の画像、実験の動画を見たり、実演の様子を録画再生し確認するなど、児童生徒の理解を深めたり、興味・関心を高めたりする授業づくりに取り組んでいます。1人1台のタブレット導入については、電子黒板等の今後の活用状況を見る中で検討する必要があると考えています。

## 【教育のデジタル化推進委員会】質問・提案の資料



和歌山県教育のデジタル化推進委員会へ、  
教育へのVR導入を提案します。

【総合体育館マネジメント委員会】質問・提案

「福山市総合体育館の利用方法」について



2020年3月に福山市総合体育館が使えるようになり、たくさんのスポーツができることを楽しみにしています。私たちはスポーツ観戦や、実際に体を動かすことで人と人の関わり合いを増やしていきたいと思います。市民がスポーツをもっと身近に親しめるよう、福山市総合体育館の利用について考えました。

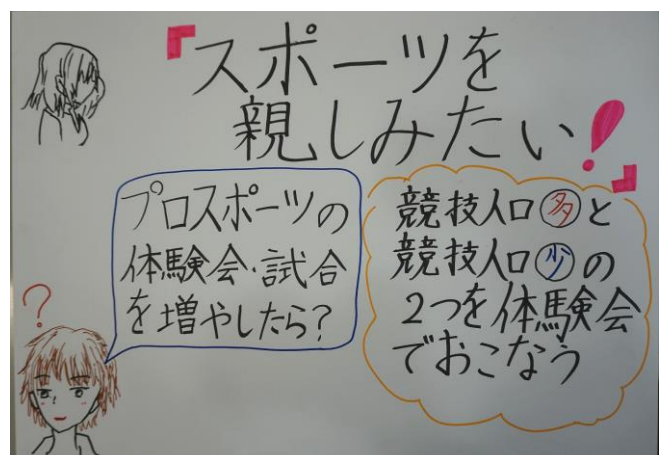
総合体育館を利用してスポーツに親しむための質問と提案

- ① 体育館の無料開放日について。
- ② 器具の貸し出しについて。
- ③ プロスポーツ選手による体験会について。

①②現在建設中の総合体育館は、備後地域のスポーツ・レクリエーション活動の中心として、全国大会やプロスポーツなどの開催が可能な機能・規模を持つ施設として整備しています。体育館の無料開放日は、夏休みや冬休みの期間中や、市が主催するイベントと併せて実施するよう検討し、器具の貸し出しも行いたいと考えています。

③本市はこれまで、プロによるスポーツ大会や、サンフレッチェ広島の子供サッカー教室、広島東洋カープの野球教室などを開催してまいりました。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、メキシコオリンピックチーム8競技の事前合宿を受け入れ、練習の公開や選手との交流の機会を設けることとしています。今後も、プロスポーツの試合やスポーツ体験会の開催により、スポーツが身近に感じてもらえるよう取り組んでまいります。

【総合体育館マネジメント委員会】質問・提案の資料



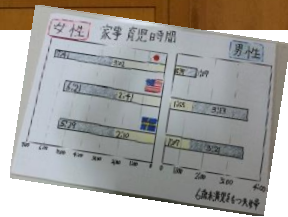


# 本会議の様子

【ドリームパークプロジェクト委員会】



【女性活躍推進委員会】



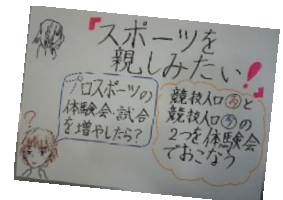
【みんなが安心防災委員会】



【教育のデジタル化推進委員会】



【総合体育館マネジメント委員会】



# 「子ども議会宣言」

私たち子ども議員は、福山市の全小中学生を代表して福山のよりよい未来を目指すため、次のことを宣言します。

私たちは、福山の人たちが安心して暮らせる町、  
夢・希望あふれる町、  
伝統的な文化やスポーツが広まり、  
興味をもってくれる人が増える町、  
そして、み力がいっぱいできよう心があふれ、  
誰もがかがやける町にしていきます。

たくさんの歴史をもった福山で暮らしている私たちは、  
福山の「歴史」を学び、人々の「思い」を知り、  
新しい100年への一歩をふみ出し、  
福山の人々の気持ちにこたえるため  
精一杯努力をします。

2018年（平成30年）10月21日

福山市子ども議会子ども議員

土肥 利江

高橋 一加



福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課  
TEL(084)928-1046 FAX(084)927-9121  
<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp>  
E-mail:seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp  
第1号 広報委員 平田 大貴 ・ 久米 玲海

## 7月14日(土) 認定書交付式

2018年7月14日に福山市役所で、認定書交付式がありました。子ども議員の38名が三好教育長から認定書をもらいました。

教育長の前で小学5年生6人が  
決意表明をしてくれました。  
大きな声ですばらしい決意表明でした！



## 7月23日(月) 第1回事前学習会

### ☆☆ 仲間作り ☆☆

ふれ愛ランドの方が、とても楽しいレクリエーションをしてくださいました。自己紹介はきんちょうしたけど、みんなでゲームをしてとても楽しかったです。ゲームで遊ぶにつれて名前呼びあうほど仲が良くなりました！



### ☆☆ 議場見学 ☆☆

午後から議場見学をしました。議場はとても広くて、木の机と一つ一つの席にマイクがありました。国旗などがたててありました。席に座った時、ここで議会をするのが楽しみと思っし、頑張っていこうとも思いました。

子ども議会は今年で10回目を迎えました。今年度の子ども議会には、20の小中学校から小学生20名、中学生18名の子ども議員が参加しています。他の学校の友達ともたくさん話し合いを重ね、10月21日の本会議に向けて楽しみながら学習会を進めていきましょう！

(青少年・女性活躍推進課 松本)

これから子ども議員のみんなと福山市の小中学生の代表として、福山市のよいところをアピールできるように、みんなと意見を出し合いながら協力して頑張りたいです。(平田)

みんなで意見を出し合って、福山市をよりよくしていけるように頑張ります！(久米)



福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課  
TEL(084)928-1046 FAX(084)927-9121  
<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp>  
E-mail:seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp  
第2号 広報委員 川原 遥 ・ 小山 絢彩美

## 7月23日（月） 第1回事前学習会

### ☆☆ ばらの学習! ☆☆

市役所の方が、ばらについてわかりやすく教えてくださいました。まだ知らなかったばらの魅力など、ばらについてより深く知ることができました。



### ☆☆ 市政についての学習! ☆☆

福山市の取り組みを知り、未来の福山についてグループごとに発表しました。どんな街にしたいか意見を出し合っ、どのグループも上手にまとめられていました。目指す未来を一人一人が考え、福山をよりよくしていきたいです!



## 7月26日（木） 第2回事前学習会

### ☆☆ テーマを決めました! ☆☆

委員会ごとに前回まとめた紙をもとに提案のテーマを決定しました。前回よりふんいきが少しずつやわらかくなっており、笑顔がたくさん見られました!!各委員のサポーターの方としっかり話し合っ、よりよいテーマを決定することができました。次回からもこのテーマをもとに質問書の作成をがんばっていきます!!



昨年度の子ども議会で提案されたキャラクター「しろふくまん」が福山アンバサダーに認定され、フェイスブック、インスタグラム、ツイッターで福山の魅力を発信しているところです。提案したものが実現すると嬉しいですね♪ぜひ、フォローしてみてください!



みんなで話し合っ、決めたテーマで福山市をよりよくできるようにこれから、たくさん意見を出していきます。(川原)

一人一人が積極的に意見を出し合っ、福山の未来がすばらしいものになるよう頑張っ、いきたいと思っます。(小山)



# ふくやま 子ども議会通信

第3号 2018年10月4日

福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課  
TEL(084)928-1046 FAX(084)927-9121  
<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp>  
E-mail:seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp  
第3号 広報委員 新田 晟 ・ 山本 憲誠



## 8月8日（水） 子ども議員・高校生議員合同学習会



☆ ★ 福山のものづくりについて ☆ ★  
カイハラ株式会社の大久保さんから  
お話を聞きました！国内唯一のデニム素材の  
一貫生産をしていることを知りました。  
創業 125 年続いていることがすごいと  
思います。



カイハラグループは、日本国内や  
海外にも沢山あります。

色々な企業とコラボして、  
多種多様な製品を作っています。



## 8月9日（木） 第3回事前学習会



☆ ★ 議長選挙をしました ☆ ★  
8月9日木曜日に4人の立候補者の演説を聞き、  
だれが議長になってほしいか投票をしました。



税の使われ方や、選挙のルール  
を知ったあと、みんな  
それを守り、投票を  
していました。



福山市には、たくさんのものでづくり企業があり  
ます。身近にあるデニムができていく過程はとて  
も興味深く、熱心に聴いているみなさんの姿が印  
象的でした。議長選挙では、立候補者の演説を真  
剣に聞き、投票していましたね。議長、副議長、  
本会議ではよろしくお願いします！

本会議ではハキハキと分かりやすいように伝えるよ  
う頑張ります。（新田）  
初めての子ども議会で友達をつくりながら、福山のた  
めになることをしていきたいです。（山本）



# ふくやま 子ども議会通信

第4号 2018年10月4日

福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課  
TEL(084)928-1046 FAX(084)927-9121  
<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp>  
E-mail:seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp  
第4号 広報委員 吉川 寿乙 ・ 石川 晴菜

8月9日(木) 第3回事前学習会

8月25日(土) 第4回事前学習会



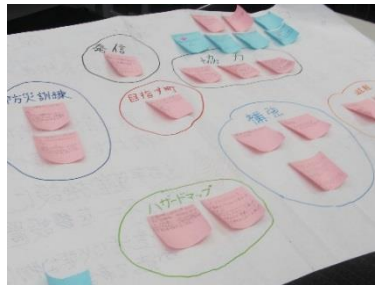
9月2日(日) 第5回事前学習会

## ☆☆ 事前学習会の感想 ☆☆

みんなで、「質問・提案書」の作成をローズコムでやりました。みんなで意見を出し合いながら、「どうやったら、みんながすこしやすくなるだろうか」と考えながら楽しくやりました。



サポーターの人の意見もありながら、みんなで協力して意見をまとめていきました。大事な絵なども描き、とてもじゅうじつした事前学習会でした。



どんな質問をするのか、どんな提案をするのかを各グループで話し合いました。

前に決めたテーマを元に、一人一人、自分がどんな質問をしたいか、どんな提案をしたいかをふせんに書き、出しあって、意見を交換しました。

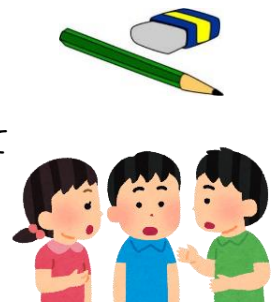


高校生サポーターの方や子ども議会の担当の方の意見やアドバイスを聞きながら、話をまとめていきました。

思いついた意見やぎもんをどんどん言っていき、どんな質問にするのかを決めていきました。

## 各委員会のテーマ

- ★ ドリームパークプロジェクト委員会 「どんな人でも共有できる空間」について
- ☆ 女性活躍推進委員会 「女性の社会参加」について
- ★ みんなが安心防災委員会 「外国人も安心して暮らせる地域づくり」について
- ☆ 教育のデジタル化推進委員会 「デジタル教材の活用」について
- ★ 総合体育館マネジメント委員会 「福山市総合体育館の利用方法」について



10月21日の本会議もがんばりましょう!



福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課  
TEL(084)928-1046 FAX(084)927-9121  
<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp>  
E-mail:seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp  
第5号 広報委員 橋本 凌 ・ 足立 美咲

## 10月21日(日) 福山市子ども議会 本会議



子ども議員になってできるようになったことが2つあります。  
1つ目は、自分の意見をはっきりと言えるようになったことです。  
自分の意見が質問書に書かれた時は、  
とても嬉しかったです。



2つ目は、福山市の身近なことに興味をもてるようになったことです。

本会議で出された案を聞いて、「確かにこんなことがあると住みやすくなるのに」と思いました。そして、帰り道にいろいろな「ここは工夫されている」「ここはあまり工夫されていない」というのを見つけました。次第に身近なことに興味をもてるようになりました。

これからできることを少しずつ増やし、来年も子ども議会をやりたいと思いました。



子ども議会を通じて学んだことが2つあります。

1つ目は、自分と違う人の考えも受け入れることです。  
子ども議会の中で、全く違う意見や考え方の人もいましたが、理由を聞くと、この人はそういう考え方なんだと思うようになりました。本会議でも、自分には考えられなかったものもあって、驚きとともになるほどとも思いました。



2つ目は、文章を書く力です。質問書を作るとき、どのように書けば伝わるかを考えて書くことができました。仲間と修正したり、関係課の方のアドバイスを参考に、わかりやすい文章を書くことができました。



子ども議会の経験は、他ではできない経験だと思います。学んだことを勉強や生活に生かしたいと思います。

市長や教育長の前で、堂々と発言していたみなさんの姿は素晴らしかったです！これからのみなさんの活躍を期待しています♪





第 2 章  
感想文集

## ドリームパークプロジェクト委員会

福山市立神辺東中学校3年 吉澤 京香 『子ども議会を通して』

私は、小学校五年生の時から五年間子ども議員をさせていただきました。そして、去年は議長、今年は副議長という立場で皆さんをサポートしてきました。最初は副議長になれた嬉しさだけでなく、皆さんを上手く引っ張っていけるか、議長のサポートができるか、不安な気持ちもありました。しかし、学習会を重ねていくうちに、自分の意見を主張しながら相手の意見も尊重したり、発言できていない人に話題をふってあげたりして少しずつ皆さんを引っ張っていけるようになりました。そして自分に自信が持てるようになりました。

一生懸命考え、たくさんアイデアを出した委員会のメンバー、高校生サポーターの方、コーディネーターの方、青少年・女性活躍推進課の皆様など、たくさんの人の支えのおかげで多くのことを学び、身に付けることができました。本当にありがとうございました。

子ども議員になれるのは今年で最後だったけど、来年は高校生サポーターとしてまた子ども議会に携われたらいいなと思います。

子ども議員の皆さん、おつかれ様でした！！

福山市立福山中学校1年 縄 恵太 『子ども議会』

僕が子ども議会で得たものは、仲間と協力し合い、自分の意見を言うためにどのような手段をとっていけば良いのかということです。ただ単に、人の意見を聞いてそのまま聞き流すのではなく、その意見でいいのか、他の意見はないのかと思って意見をいうことで、より良い提案になると思いました。たくさんの人と何度も案を考えて、とても良い案ができたと思います。学年は違うけど、考えていることや悩んでいることは意外と同じなんだなと思いました。

本会議の日、僕はとてもきん張りましたが、無事発表することができました。たくさん話し合いを重ねていくと、こんなにも達成感が味わえるのだなと思いました。この経験をもとにたくさんの方の意見に流されないようにしていきます。そして、来年もなるべく参加していきたいです。

私が今回の子ども議会で学んだことは、大きく2つあると思います。

一つ目はいろいろな人の意見を取り入れることです。私は今回副委員長としてこの議会に臨みました。学習会をする際には他人の意見を尊重し、自分自身の意見もしっかりと言うということを心がけました。なので他人の意見を大切にすると、ということの特を意識しました。

二つ目は仲間の大切さです。なにかなやんでいる時、一人ではうまくいかなかった時、そんなときもそばには仲間がいてくれたから最後までがんばることができました。

最後に、今までサポートしてくださった方々にはとても感謝しています。この子ども議会を通して学んだことをこれからも大切に、日々の生活に生かしていければいいな、と思っています。本当に貴重な体験ありがとうございました。

私はこの子ども議会を経験して、自分の考えを持って相手の考えを受け入れる力がつきました。たくさんの考えが出た時も、しっかり聞いて、みんなの考えをまとめようとがんばることが子ども議会を通してできたと思うことのひとつです。

子ども議会をやる前は、自分の考えは主張することができていたけれど相手からたくさんの考えや違う考えがでたときに、うまくまとめることができませんでした。でも、この子ども議会で知らない先輩や後輩と話をしていく中で違うことや考えがでたら、まとめたり受け入れたりすることができたと思います。そして、自分の思っていることを自分の中でまとめて短く簡潔に話す力もついてきたと感じました。

どんな状態でも「自分の考えを持つ」ことは大切だと思いました。人の考えを受け入れ自分の考えを主張する力は大切なのでこれからも育みたいです。ありがとうございました。



## 盈進中学校 1年 葛原 夢依 『福山の事をたくさん知れて…』

今回、子ども議会に参加させて頂いて、福山の知らないことをたくさん知ることができたので良かったと思います。

二年目の子ども議会をして、福山をもっともっとより良くするには、どのような対策をすればいいのかなどを考える事により、福山への疑問や興味、関心などいろいろな心情がうかびあがってきました。その疑問が解決するたびに、もっと知りたいという思いも出てきて、今では、前よりたくさん福山市の事を知れたと思います。私は、来年もこの子ども議会に参加をしたいなと思っています。来年も参加して、まだまだ自分たちの力で福山をより良くしていきたいなと思っています。

子ども議会で学んだ事をこれからの学校生活に生かしていきたいと思っています。

## 福山市立東小学校 6年 酒井 茉莉子 『子ども議会を経験して』

私はこの子ども議会を通して二つの力がついたと思います。それは積極性と自分の考えを言えるようになったことです。

六年生の夏休み前までは、発表する時間に分かっている質問でも手を挙げていませんでした。また、発表しても、自分の考えをまとめられなかったりしていました。だけど、夏休みの事前学習での話し合いを通して自分の考えを積極的に、分かりやすく言えるようになりました。また、積極的に話し合いができるようになり、意見を出すようにがんばりました。なので班での話し合いや、学級、学年、クラブ、委員会、いろいろな所で意見が出せるようになりました。

さらに同じ委員会の中学生や大人の方がやさしく接してくれたのでよかったです。

今年の子どもの議会での経験を生かして、来年もこの子ども議会に応募したいです。



## 福山市立東小学校6年 通山 愛唯 『子ども議会を経験して』

私は、子ども議会を経験して、何事にも積極的に取り組むことを学びました。私は去年もやっていて、去年は市長さんなどえらい人の前でマイクを使って話すことが少しはずかしくて、フリップを見せる仕事をしました。けど、今年は勇気を出して友達といっしょに言葉を言う方に手をあげてみました。本番ではきんちょうしたけど、いい経験になったと思いました。

自分の考えを積極的に分かりやすく伝えられるようにもなりました。委員会名なども、今年は自分の意見を言ってみて通ったのでうれしかったです。何かについて一人ずつ意見を言う時、自分の意見をしっかり持って言えたので、みんなが納得してくれたことが心に残りました。

子ども議会で学んだことを、これからいかしていきたいです。

## 福山市立箕島小学校5年 村上 響 『ぼくの思い出の議会』

ぼくは、この子ども議会を通していろんな福山のことについて知ることができました。総合体育館や市長の経験についても聞かせてもらいました。ドリームパークプロジェクト委員会では、どんなことを質問するかみんなでしっかり考えて決めたほか、フリップの絵や見直しも一つ一つ大切にしました。議場に入った時、内心どうしたらいいのかよく分からなかったけど自分の位置などをたしかめているうちに、少しずつきんちょうがとけました。総合体育館がけい馬場あと地につくられるのは知っていたけど、中がどうなるのかなどはよく知らなかったのでとても勉強になりました。

来年は子ども議会に出るのはむずかしいかもしれないけど、また体験したいです。

## 女性活躍推進委員会

### 盈進中学校2年 宍野 亮太 『仲間』

僕はとても人見知りなところがあるので本当は人前で発表したりすることがあまり得意ではありませんでした。けど周りの仲間がいたおかげで人前でも堂々と発表することができたと思います。もしも一人での発表だったらとても緊張していたと思うし、絶対発表できていなかったと思います。なので、仲間と一緒に発表できたというのはとてもよかったと思います。

## 福山市立福山中学校1年 小山 絢彩美 『私がつけた力』

私は、子ども議会を経験して一番ついた力は、積極的に自分の考えを伝える力です。今までの私は、自分の意見をもっているけどまちがえたら…と思ってしまい、なかなか言いたせませんでした。でも今回の子ども議会では一人一人全員が意見、考えをだす感じだったので遠慮せず、たくさん言うことができました。

また、コミュニケーション能力もあがったと思います。メンバーはもちろん初めて話す人ばかりで仲良くなれるのかな、と心配していました。でも、頑張って話しかけたらすぐ仲良くなってたくさん話せるようになりました。すごくうれしくて、子ども議会に行くのが毎回楽しみになりました。

福山市のことについてこんなに深く考えたことはなかったので、今かかえている問題を深く知り、これからの福山についてたくさん考え、アイデアをだしていく、すごく貴重な経験になりました。楽しかったです！！

## 福山市立福山中学校1年 林田 琴波 『協調性と個性』

今回の子ども議会に参加させていただき、私が感じたことは一人一人の個性を最大限に発揮し、周りのみんなとの協調性を大切に活動することの大切さについてです。

子ども議会に私は今回初めて参加しました。みず知らずの小学生・中学生、さらには高校生まで…。私はあまり初対面の人とフレンドリーに話せるような性格ではないため、きんちょうしきった状態で認定書交付式に出席しました。次に行われた仲間づくりレクリエーションではすっかり委員会内外のみんなともうちとけられたので一回一回の学習会へ出席するのが楽しかったです。そのまま日は流れ気づけば本会議、今まで協力して一からつくり上げたものをどうどうと発表できました。最後、仲良くなった子に、「来年も議会に入ってよ！約束！」ともう来年の約束までしてしまいました(笑)この議会を通して私は自身の個性を生かしつつ、周りのみんなとでつくり上げる協調性について深めることができました。

## 福山市立御幸小学校6年 石川 晴菜 『小学校最後の大きな経験』

私が子ども議会を通して感じたことは、「コミュニケーションはとても大切」ということです。

それぞれのチームに分かれて、一人ずつが意見を言うのはとても大切だと感じました。学校では、クラスの全員が意見を言うことができないけど、グループに分かれることで、少ない人数なので一人一人の意見を細かい所まで聞くことができるととても楽しかったです。

福山市の小学生の代表として、もっとこのようにすれば良いのではないかと、ということや、今、福山市ではどのような取り組みや活動をしているのか、という質問を考えることができました。しょう来の福山市のことを考えられたということがとてもうれしかったです。

私は子ども議会を来年もやって、もっと福山市をよりよくするために、福山市の未来がよりよくあるためにどのようなことをすれば良いのか話したいと思いました。

## 福山市立千田小学校6年 吉川 寿乙 『自信がついた子ども議会』

私は今回、中学生の先輩と活動出来て、憧れ、また自分も将来そうなりたいと強く思えたことが一番心に残ったことです。自分の成長としては、自分の考えがっているか、みんなに認められるか不安で授業中の発表時にもドキドキしていましたが、子ども議会を終えて、色んな考えがあっていいのだと、気にならなくなりました。

学校との環境とは違い、最初は戸惑いましたが、直ぐに慣れて私も「みんなと一緒に活動したい」と思えるようになりました。ルールが守れない友達や意地悪をする子など学校生活には自分勝手な子がいますが、子ども議会では、そんなことで心がイライラすることなく、お互いに認められる環境でした。

私は今回、女性活躍推進委員会として活動してきました。我が家も共働きです。しかし、家事は、ほぼ母です。私たちの支援から家事まで、仕事もしながらするのは大変だと改めて気付けたことが良かったです。

## 福山市立手城小学校6年 山本 瑚心 『子ども議員をして』

私はこの子ども議員をして、二つの力をつけることができました。

一つ目は、人前で発表する力です。私は児童会を体験したことがありますが、そのときとはまたちがったきん張感がありました。大勢の大人達の前で、自分達が今まで考えてきたことを堂々と言えたので、とても達成感がありました。

二つ目は、人と話し合う力です。学習会がある度に自分の意見を言う時がありました。福山をよりよくするための意見は様々で、私と似たようなこと、全くちがうことなどがあり、他の人と意見を深め合うことができました。

今回、普段出来ない体験をさせてもらって一生の思い出に残りました。

この子ども議会でつけた力をこれからの生活に生かしていきたいです。

## 福山市立山手小学校5年 武本 陽大 『思いがいっぱい子ども議会』

ぼくは、五年生になって、はじめて子ども議会をやりました。学校の代表者は、ぼくしかいなかったなので心ぼそかったです。でも、仲間づくりのレクリエーションなどで、心ぼそさもなくなりました。それぞれの委員会に分かれて、それぞれの課題にむけて、本会議をしました。

ぼくは、この本会議で、学習したことは、二つあります。

一つ目は、自分の考えを発表することです。なぜかという、意見をいわないと、自分の思っていることや、本当のことがいえないからです。

二つ目は、自信がついたことです。なぜかという、本会議ではとても自信が必要だからです。

他にも協力や、仲間を大切に作る気持ちなどをたくさん学ぶことができました。3ヶ月間ありがとうございました。

## みんなが安心防災委員会

### 福山市立鳳中学校3年 金高 ひな乃 『たくさんの感謝』

私は、この子ども議会を通してたくさんのことを学ぶことができました。「どうしたら福山がよりよくなるだろう」とみんなで考え、色々な意見を出し合うことができました。学校も学年も違うみんなが集まり、お互いの意見や考えを交流し合い、相手の意見や考えを理解し、自分の意見や考えを相手に伝えると



いうことができました。

今年は、習い事や部活で子ども議会に参加することが出来ないことがありました。私は委員会の委員長だったので副委員長や委員会のみんなに支えられて委員長を務めることができました。

とても良い貴重な経験をすることができました。ありがとうございました。これからの学生生活に生かしていきたいです。

## 福山市立幸千中学校 1年 松本 拓真 『災害と向き合った子ども議会』

僕は、今回の二回目の子ども議会で今年発生した西日本豪雨での福山市の課題を知り、それにどう対応していくかについて考えてきました。

今回の豪雨で幸千学区、福山全体で洪水や土砂崩れなどの大きな被害を受けました。それらで、いつ、どこに避難すればよいのか分からないなどといった課題が見つかりました。その課題と向き合ってどうするべきなのかをグループのみんなと考えて、まとめて、発表につなげました。発表では市長さんにしっかり質問することができました。疑問に思っていたことをしっかり聞くことができました。

今回の子ども議会で、仲間と協力すること、課題と向き合って解決する方法、調べたことをまとめる力がつきました。この力を今後の生活に生かしていきたいです。

## 福山市立城北中学校 1年 新田 晟 『子ども議会で学んだこと』

僕の班は、防災について学びました。みんなが安心して暮らせる地域作りを考えました。そして外国人の方にも防災の連絡が行き渡るために、どのようなことが大切か話し合ったり、調べたりしました。アプリなどを作り、SNSで広めたりすることも新しく出た案でした。僕は広報委員になり、広報誌を作りました。広報誌では、福山のもの作りと題して、カイハラの方から聞いた話について書きました。国内唯一のデニム素材を一貫生産し、創業125年も続いていることを知り、とても驚きました。また、国内外にグループがあり、色々な企業とコラボしていることにも、驚きました。最後に印象に残ったのは、市長さんと教育長さんとの座談会でした。色々な私達の質問に真剣に答えて下さいました。僕は、「どうして市長さんになろうと思ったのですか？」と質問しました。市長さんは福山をもっと元気な町にしたいと思ったからと答えて下さり、僕はとても嬉しく思い、感動しました。

## 福山市立引野小学校6年 岩根 沙樹 『子ども議会』

私が子ども議会を経験して得たものは、三つあります。

一つ目は、福山市が今、どんなしょうきょうかわかったことです。今、福山がどんなしょうきょうか分かったらどこをなおせばいいか分かるからです。

二つ目は、福山市のことをもっと知れたことです。学校でも総合的な学習で福山のことをよく調べてよく知ったはずなのに、議会でおしえてもらったことは全然知らなかったのも、もっと福山を知れてよかったです。

三つ目は、福山のことの方がもっと好きになったことです。もともと好きだったけど議会を経験してもっと好きになりました。以上子ども議会を経験して得たものでした。ありがとうございました。

## 福山市立引野小学校6年 久米 玲海 『貴重な体験と成長したこと』

私は、子ども議会の学習会などでとても貴重な体験をすることができました。議長を決めるときには、本格的な選挙の仕方を教えていただき、実際にしました。それに、ふだんは聞けない福山の特産品や、市の取り組みなども教えていただきました。本会議も本当の議場でし、本当に市長に意見を言うことができました。こんなに貴重な体験をしたのは、初めてです。

こんな貴重な体験をしただけでなく、私自身も少し成長することができました。いろいろな人の意見を聞いて話し合い、自分の意見に自信をもつことができ、人前で堂々と意見を言うことができるようになりました。そして広報委員もさせてもらい、自分の感想を上手くまとめられるようになりました。

子ども議会を通して、たくさんの経験を積むことができ、自身の成長につなげることができました。私たちの意見で福山が楽しくらせるよりよい市になってほしいです。

## 福山市立御幸小学校6年 宮 愛佳 『成長につながる』

私はこの子ども議会で身についた力がたくさんあります。

学校では進んで意見をいうことがあまりなかったけど、ふせんに意見を書いて発表したり、グループの中での意見交流などで人前で発表するという力がつきました。そして、福山市のことに興味を持ったり、以前より知ることができてうれしかったです。

新たな発表や、いろんな力がつけれたり、この子ども議会を通して大きく成長できたと思います。新しい友だちもできたり、なにより、きっと一生で一度

だと思うけど議場見学やそこでの発表。委員会室も見学したことが一番の思い出です。私は、この子ども議会で学んだことや身についた力を、これからも生かしていきたいです。

## 福山市立千田小学校5年 石井 心桜 『よい経験になった子ども議会』

私は、子ども議会に出てみて、とてもよい経験になったと思っています。

理由は、だれかや何かのために提案するという事は、とても良い行いだからです。しかも、それが福山市のことだなんて。私の通う学校の校長先生からその話を聞いたとき、すぐに「出てみたい」と思いました。実際、私はだれかを喜ばせるのが大好きです。だから、子ども議会はそれを活かすこともできる場所だとも思いました。この子ども議会を経験して、私は、だれかや何かに対して、それをよりよくするという事は、改めて良い事だと感じました。

そして今度は、私も実行してみたいと思います。それは児童会長になることです。以前から、それにはなってみたくて思っていました。やっぱりやってみての方が良いと子ども議会で確信しました。りっこうほは、絶対にしたいです。そして、今回の子ども議会への参加をすいせんしてくれた校長先生に、感謝したいです。

## 教育のデジタル化推進委員会

### 福山市立福山中学校3年 坪内 志栞 『成長できた議会』

私は今年で二回目の参加でした。全体を通して心に残っていることは二つです。

一つ目は委員長という役割を果たせたことです。頼りない部分も多々あったのですが、職員の方、高校生サポーター、そして同じ委員会の人に支えてもらいながら頑張ることができました。また、一人一人の意見を聞いてまとめることの難しさを感じました。

二つ目は福山の町について考えるようになったことです。今まで何とも思っていなかったけれど、ここが工夫されているな、もっと改善したら良いのにと考えるようになりました。福山がより良い町になったら良いなと思います。

今年も他でできない経験ができました。また、多くに人と関わり、意見を聞くことで自分の視野を広げることができました。もう子ども議会には参加できませんが、この思いを忘れず生活に活かしていきたいです。

## 福山市立城南中学校3年 金子 愛佳 『経験という力』

私にとって、この「子ども議員」としての経験は、何にも変えられない確かな力になったと思います。

今年、私は子ども議員として二回目の活動になりました。一回目のことをふまえながら活動しましたが、なかなか上手くいかず、焦った時期もありました。しかし、そんな時期も、同じ委員会の人と手をとりのりこえることができました。そのときの喜びは、絶対に他では味わうことのできないものだと思います。なぜなら、子ども議員として同じ委員会に集まったのは、学校も学年も全然知らない人ばかりだったのですから。みんなと協力して、話し合い、意見を出し合った提案書も、色んなアイデアを考え、工夫し、作り上げた委員会名も、私の中で輝く宝石となりました。

子ども議会を経験することができて、本当によかったです。子ども議員として積み重ねたこの力が生かせるよう、これからもがんばっていきたいと思います。

## 福山市立神辺東中学校3年 崎谷 陽菜 『子ども議会で学んだこと』

私は中学三年で初めて子ども議会議を体験し、何でもっと早く参加しなかったんだろう、と悔やむほど子ども議会議では多くのことを学びました。

私は主に二つのことを学びました。一つ目は、事項をまとめて、たくさんの人の前で発表する力です。福山市をよりよくするためにみんなから出た意見をまとめ、本会議で発表することができました。

二つ目は、積極的に意見を言う力です。子ども議会議に入ってから自分の意見を言う場が増え、思っていることをまとめて出し合うことができました。

子ども議会議ではたくさんのことを学び、感じるすることができました。このことを、これからの高校生活や勉強に生かしていきたいと思います。

## 福山市立御幸小学校6年 大野 真歩 『一度きりの経験』

私はこの子ども議会議の経験は、一生に一度きりしかないものだと思います。

私は『教育のデジタル化推進委員会』で、デジタル教材の活用についてを提案しました。一年後にはもうデジタル化が進み、このことを提案できなかったかもしれません。しかし、この年にやったからこの提案ができた。そう考えた時、一生に一度きりしかない経験ができたと言えると考えたからです。

この子ども議会議を通して私は、人前で話す力、協力する力、考える力、まとめる力など、今までについていた力+新たな力や、パワーアップした力をつけ

ることができました。

また、他の学年、他の学校などの人と交流できたり、「自分の住む町」から「自分の住む市」へと活動の場を広げられたりしたことが一番子ども議会を通して良かったと思うことであり、やってよかったと感じることができた一度きりの経験だったと思いました。

## 福山市立御野小学校6年 高橋 一加 『子ども議会を終えて』

私は、本会議ではじまる前からおわるまでずっとドキドキしました。

委員会で話す時自分の意見を言えて、それが、自分の意見を言うじしんになりました。それに、やればやるほど話し合うのが楽しくなってきた、本会議では発表はしなかったけど、自分たちの意見にじしんをもってフリップを上げました。教育のデジタル化推進委員会で、福山をどうよくするか、考えたことを発表する前が一番緊張したけど、発表が始まると、緊張の気もちが少しほぐれました。大人数の前に出て子ども議会宣言もしました。なかなかできない、貴重な経験ができました。

本会議は、ドキドキしたけどやってみるとたのしかったので、また中学校できかいがあればやりたいです。

## 福山市立御野小学校6年 土肥 利江 『子ども議会を経験して』

私が子ども議会に応じた理由はあまり深くなく、ただ、「楽しそう」と思ったからです。私は、福山市をよりよくしていくため、福山市のよいところなどを学び、また第五委員会に分かれ、意見を出し合いました。私は、意見を考えていても、口に出す事が苦手でした。だから最初は、他の人の意見を聞いているだけでした。しかし、大人の方、高校生サポーターの方々の支えがあり、意見を言えるようになりました。このことから私は意見があったら、口に出せばいいんだと改めて感じるすることができました。

私は子ども議会を経験して良かったと心から思います。福山にはさまざまな文化があるなど、都会にはない物がたくさんあるので、私は福山が大好きです。だから、福山について学べて、とてもうれしいです。

また、このようなきかいがあったら参加し、たくさん子ども議員の人達と出会いたいです。



## 福山市立引野小学校6年 橋本 凌 『自分の成長』

ぼくは、「子ども議会」に参加して、いろいろなことができるようになりました。その中の、「自分の意見を言う」という力は、とても成長したと思います。なぜなら、質問書を書く時に、自分の意見を言わないとみんなの意見をまとめることができないので、できるだけ、自分の意見を言うようにがんばりました。最初は、自分の意見が思いつかなかったり、思いついても、本当に言っているのかな、となったりしてなかなか自分の意見が言えませんでした。しかし、これではいけないと思い、ささいなことでも言うようにしました。そうすると、自分の言った意見を質問書に書いてもらえました。その時はとてもうれしかったです。それをきっかけに自分の意見を言えるようになりました。

だから、「子ども議会」に参加して、「自分の意見を言う」という力はとても成長したと思いました。そして、「子ども議会」に参加して良かったと思いました。

## ぎんがの郷小学校5年 平田 大貴 『子ども議会を通して感じたこと』

ぼくは、子ども議会を通して初めて会った人と仲良くして、楽しく提案を考えたりして良かったです。それは、名前も好きな物も分からなくて、まるで一年生の時みたいな状況だったけど、話していくうちにみんなと友達になれたので、とてもうれしかったからです。

ぼくは、教育のデジタル化推進委員会で、デジタル教材の活用について質問と提案を考えました。ぼくの小学校は、ガラス黒板になっていて、プロジェクターやスクリーンを使って授業をしています。しかし、他の学校にはそのような物を使っていなかったなので、早く使ってほしいと思いました。

## 総合体育館マネジメント委員会

## 福山市立中央中学校3年 増田 花音 『最後の子ども議会』

私は子ども議会に参加してついて力があります。それは人の意見をうまくまとめる力と気になることを意欲的に調べる力です。まず人の意見をまとめる力は委員会の話し合いのときです。どんなことを質問するかなかなか意見がまとまりませんでした。多数決もよいと思いましたが少数意見も尊重したく、それぞれの意見のポイントをあげ話し合ってまとめることができました。今までは多くの意見があがった時は多数決で決めていましたが、時には様々な意見をポイントでまとめていきたいです。次に気になることを意欲的に調べる力は学習

会の中で市役所の方などとお話をしたときです。福山市の取り組みをもっとくわしく知りたい、これはどうなるのだろうと少しでも疑問に思うことがあれば調べるようになりました。

私は小学六年生、中学二年生、今年と今まで三回経験しました。毎回新しい知識や力が自分についていると感ずることができています。夏休みという少しの間でしたが議長としてとても未熟な私をサポートしてくださった方々、会う度にみんなのことが大好きになり、楽しくて議会が終わってほしくないと思わせてくれた議員のみんな、子ども議会開催に携わってくださったすべての方にとっても感謝しています。ありがとうございました。

来年は高校生サポーターとして子ども議会を盛り上げてサポートしていきたいです。

## 広島大学附属福山中学校2年 通山 由唯 『新しい仲間と 踏み出せ一歩先へ』

私にとって二度目だった今回は、以前よりもたくさんの出会いがありました。同じ学校の子が一人もいなかったのも、上手く他の人と話せるかどうか不安でしたが、レクリエーションでの班交流によって話せる人がだんだん増えていきました。お昼ご飯も一緒に食べ、たくさん話もしました。私にとって彼らは、とっても大切な「仲間」です。

子ども議会というのは、全員にチャンスはありますが必ず経験できる場ではありません。しかし私達は、福山の未来につながるかもしれないというその場で、堂々と自分の意見を口にしました。それはやはり、自分自身の大きな一歩となったと思います。また、その一歩は一人では踏み出せなかったかもしれません。仲間と協力し、目には見えない一つの目標を達成したということが、その一歩につながったと信じています。

これからも、このような一歩を少しずつ積み重ねて、未来へとつなげていきたいです。

## 福山市立中央中学校1年 足立 美咲 『子ども議会を終えて』

私は、この子ども議会で二つのことを考えることができました。

一つめは、小学生から中学生になったことによる変化です。私は去年初めて参加して今回二回目の参加となりましたが、小学生だった時と比べて下級生も増え、委員会の中で積極的に意見を言ったり、まとめたりすることができました。

二つめは、福山の良い所や課題を発見し、その良い所をどう伸ばしていくか、課題をどのような方法で解決していくか考えられたことです。私たちの委員会では、どのようにしたらみんながスポーツに親しめられるか、どのようなイベ

ントを作れば運動が苦手な人でも楽しめるかを考えて、みんなで一つの提案をすることができました。

子ども議会では、その他にも様々な貴重な経験ができました。このことを今後の生活に生かしていきたいです。ありがとうございました。

## 福山市立御幸小学校6年 今川 沙稀 『貴重な体験』

私は、今年初めて子ども議会に参加しました。去年、友達が子ども議員として活動しているのを知って、私も福山市のこれからについて、自分の意見をたくさんの人と交流したい、と思ったからです。

子ども議会を通して、もっと福山市について知らなければ、と強く感じました。今まで私は、福山の歴史や産業の特色、何が有名なのか、よく知りませんでした。しかし、事前学習会を進めていくと、自分の委員会以外の委員会が何を調べたり、どんなことを提案するのかを聞いたりすることで、福山がかかえている問題や今、どんなことに力を入れているのかを知ることができました。

福山市の魅力や福山市がどういう街なのか知りたかった私にとって子ども議会での経験は、自分が住んでいるこの地をもっと知らなければ、と思うきっかけになったし、自分の主張に相手の主張も加えてよりよい意見をつくる力をつけられた価値のあるものでした。

## 福山市立加茂小学校6年 山本 憲誠 『子ども議会の感想』

ぼくは、子ども議員で、二つの力がつきました。まず一つ目は、相手の意見を取り入れる力です。ぼくは、子ども議会に参加するまで、自分の意見を良くすることしか考えていませんでした。しかし、この機会を通して、相手の意見を取り入れるとよりよい意見になる、と事前学習会で少しずつ分かってきました。

二つ目は、話し合いをする時、みんなの意見を集めて、一つのものにするよということを知りました。グループでたまに、一人がいいことを言うと、「いいね。それにしよう。」となってしまう、グループの意見でなく、一人の意見になってしまいます。だから、みんなの意見を聞くことは、大切。ということを先ばいに教わりました。

子ども議会では、この力がつきました。でも、ぼくに足りない力は、まだあります。その力をふだんの学校生活や、特別な体験を通して得ていきたいです。そして、また子ども議会に参加したいです。



## 福山市立箕島小学校5年 白石 一真 『子ども議会について』

ぼくは、近くの公園でボールが使えなかったので、使えるようにするために、子ども議会に参加しました。

他の学校の小学生や中学生，高校生サポーターもきてくださいました。始めは、恥ずかしかったけれど二回・三回と回を重ねることになって仲良くなりました。他の人の考えをたくさん聞いて色々な意見があってどれも素晴らしいと思いきれと同時にすごいとも，感じました。

中学生の方の意見のまとめ方や，組み立て方のすばやさや，正確さがすごいと思いました。これからも学校の生活の中で意見のまとめ方などなどを生かしたいと思いました。

本番では，大人の方が立つ議場に立って，きんちょうしましたが，仲間がいたので落ちついてできました。

いい体験ができて機会があれば，また参加したいと思いました。

## 福山市立曙小学校5年 星山 葉月 『子ども議会を通して心が成長したと思うこと』

私は子ども議員になって，心が成長したなと思うことが2つあります。

一つ目は，仲間と協力する事です。子ども議員になる前は，自分一人でやっただ方が早く，上手に出来ると思っていたので，仲間と協力する事があまり好きではありませんでした。

しかし，子ども議員になって学習会を重ねるうちに友達と仲良くなり，力を合わせて物事を進められるようになりました。そして，仲間と協力して成しとげる楽しさを知ることができました。

二つ目は，福山の事を伝えたい気持ちが芽生えた事です。福山市に住んでいても知らなかった事を子ども議会で知ることができました。新しく出来る総合体育館は，早く使ってみたい，遊びたいと思う施設で，福山の発展につながると思うし，お父さんが早く帰って子供とふれ合う制度はとても良いと思います。

子ども議会で学んだことをまわりの人に発信し，生活にも生かしていきたいです。



「子ども議会」の運営にあたり、次の皆様に多大な御理解、御協力をいただきました。

○ 高校生サポーター

三浦 桃奈	(広島県立神辺旭高等学校)	小田 果歩	(広島県立福山誠之館高等学校)
生嶋 来夢	(広島県立大門高等学校)	木寺 美遥	(広島県立福山誠之館高等学校)
南部 香菜	(広島県立戸手高等学校)	岡田 真弥	(広島県立福山明王台高等学校)

○ ものづくり企業

カイハラ株式会社

○ 事前学習会講師、関係課

建設局都市部公園緑地課	福山市教育委員会事務局管理部教育総務課
総務局総務部危機管理防災課	選挙管理委員会事務局
保健福祉局福祉部福祉総務課	議会事務局庶務課
福山市教育委員会学校教育部学びづくり課	議会事務局議事調査課
市民局まちづくり推進部スポーツ振興課	福山市青少年育成事業団
企画財政局企画政策部企画政策課	

## あとがき

福山市では、次代を担う子どものまちづくりへの参画を推進するため、2009年度（平成21年度）から「福山市子ども議会」を開催してきました。学習会を通じて福山について学び、よく知ってもらい、福山のことをもっと好きになってもらいたい、そして、ふるさとに愛着と誇りを持ってほしいという願いも込められています。

以来10回目となる本年度まで、多くの子どもたちが子ども議会に参加し、子どもの立場から市政に対する質問や提案を行ったことで、これまで様々な提案が実現されました。

これもひとえに子ども議会の趣旨に賛同し、格別の御協力をいただいた小中学校の関係者の皆様のおかげと、深く感謝申し上げます。

また、子ども議員経験者として子ども議員に寄り添ってくれた「高校生サポーター」の皆さん、その他、御協力をいただいた全ての関係者の皆様に感謝申し上げます。

この報告書は「2018年度（平成30年度）福山市子ども議会」のあゆみを振り返り、子どもたちのまちづくりへの参画を促す機会になればと作成いたしました。

福山市のすべての子どもたちの未来が、素晴らしい出会いと希望に満ちたものとなることを願い、お届けします。

2019年（平成31年）3月

福山市市民局まちづくり推進部

青少年・女性活躍推進課 職員一同



2018年度  
福山市子ども議会



「2018年度（平成30年度）福山市子ども議会報告書」

2019年（平成31年）3月

編集・発行 福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課

〒720-0067

広島県 福山市 西町一丁目 1番1号

(084) 928-1046